

特67

371

物部神社拜辞

014671-000-9

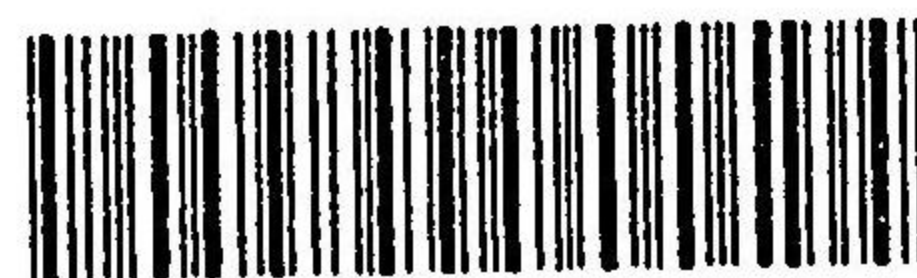
特67-371

物部神社拜辞

中田 盛記 / 刊

M17

ABB-1105



布	畏	産	耕
恩	母	土	卷
頼	白	夫	母

乎	久	神	恐
嬉	朝	乃	伎
美	夕	大	物
辱	止	前	部
美	令	仁	大
慎	蒙	畏	神
美	給	美	及

敬あやまひ比ひ拜たがひ美み奉まう良ら久く聞き食のり豆まめ  
天あま皇みかど乃の大おほ御み代よ乎を平たい平ひら良ら介け  
安やす久く良ら介け守まも給たま比ひ五いつ穀つゐ乎を始はじめ  
且かつ海うみ陸のり仁に生なま止とど生なま出い当つら物もの

等と乎を豊ゆた仁に向むか榮え仁に成な幸さい閑ひら  
給たま比ひ家や内うち仁に諸もろ乃の曲まが事こと令あ  
在あ受う親おや戚せき家け族ぞく賑にぎ比ひ睦むつ比ひ令あ  
為な業ふ乎を彌や將しょう米こめ將しょう米こめ給たま比ひ

家門高久 立榮米給比神  
隨奈御誨乃隨々清伎赤  
伎信心年奮起且一三  
四五七八九十止祈白

母著久 堅磐常磐 仁神魂  
年鎮米 給比王乃緒長久

守幸開 給止畏美 畏美白

須

二、此を以て、  
東、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、  
の、各、一、部、を、以、て、  
其、各、部、を、以、て、  
其、各、部、を、以、て、

中田盛徳記が  
之を極小にして  
なり

明治十七年二月 權中教正後五位物部有卿

明治十七年二月廿五日御届

出版人石見國安濃郡  
川合村平民

中田盛記

